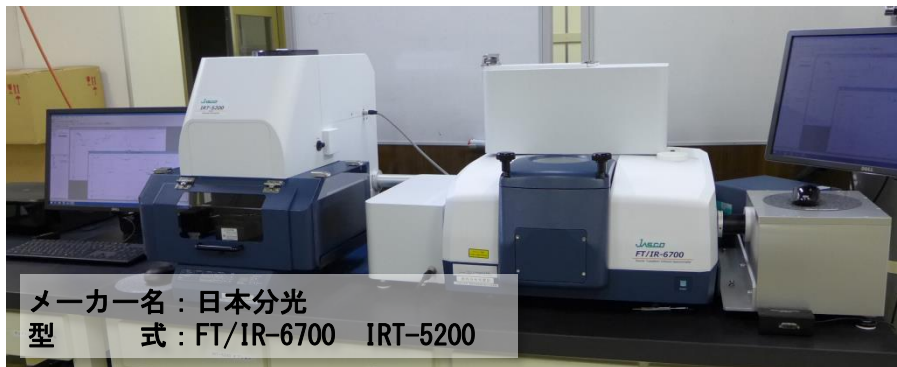


赤外分光光度計では、未知の**有機化合物**や**無機化合物の同定**を行います。

赤外分光法は、物質に赤外光を照射し、透過または反射した光を測定することで、試料の構造解析や定量を行う分析手法です。化学構造によって吸収する赤外線長の波長が異なるため、測定した赤外吸収スペクトルをデータベースと照合することで、**未知の物質が同定**できます。

微小な有機物の異物分析などに威力を発揮する、品質管理に有効な装置です。



メーカー名：日本分光
型 式：FT/IR-6700 IRT-5200

<本体部>

測定波数：7800~50 cm^{-1} 近赤外から遠赤外まで測定可能

測定雰囲気：大気中、窒素中、真空中での測定が可能

オプション：観察型ダイヤモンドATR、ゲルマニウムATR、高感度反射、拡散反射、KBr法の各測定が可能

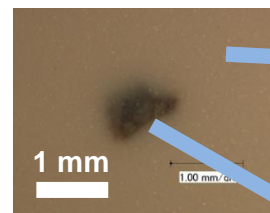
<顕微鏡部>

測定波数：7800~450 cm^{-1} 近赤外から中赤外まで測定可能

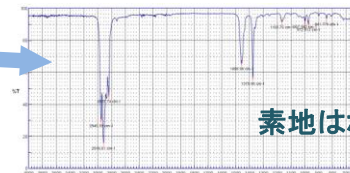
測定雰囲気：大気中、窒素中での測定が可能

オプション：ダイヤモンドATR、ゲルマニウムATR、高感度反射

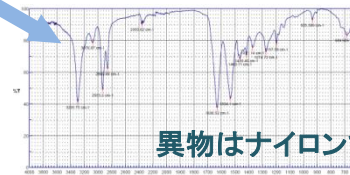
<測定例>



プラスチック成型品に
埋没した微小異物



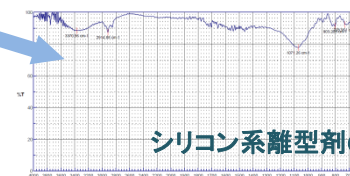
素地はポリプロピレン



異物はナイロンであることが判明



塗装が剥離した金属製品



シリコン系離型剤の残が判明

測定結果をデータベースと照合して、物質を特定する。
プラスチック、無機化合物、染料、顔料および着色剤に対応。